

ひょうたけいけ

桜台小 学校だより
令和3年10月11日
第27号



今週13日(水)、14日(木)の2日間、6年生は松阪・伊勢・鳥羽・志摩方面への修学旅行に出かけます。1か月前には三重県内の新型コロナウイルス感染が爆発的に拡がり、本校も修学旅行を延期することも視野に入れ、調整していました。現在感染拡大がある程度収まり、感染症対策を講じた上で何とか修学旅行が予定通り実施できそうです。

6年生にとっては、待ちに待った修学旅行です。思い出に残る修学旅行とするために、これからのわずかな期間、しっかりと体調管理を行ってほしいと思います。私からは『全員が参加し、全員が無事に出発し、全員が無事に帰ってくる』が唯一の願いです。



10月に入りましたが、日中は暑い日が続いています。季節の変わり目で、体調を崩しやすい時期となっています。ご家庭でも子どもの体調管理にご留意くださるよう、よろしくお願いします。
※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子をカラーで紹介しています。



後期委員の認証式を行いました。

10月6日(水)の5限目に後期代表委員、委員会委員長、学級委員の認証式を行いました。現在、三重県は『三重県リバウンド阻止重点期間(10月1日(金)~14日(木))』となっています。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、認証式については、放送室から校内放送を使って行い、各教室で担当の先生や代表委員として選ばれた子どもたちのあいさつを聞きました。

代表委員の子どもたちからは2学期の意気込みとして、「スリッパを揃えるなど、あたりまえのことをあたりまえにできるようにしたい」「地域の人にも学校の仲間にもあいさつのできる学校にしたい」「休み時間と授業時間との切り替えなど、今、どうするべきかを自分で考え行動できるようにしたい」「困っている人を助ける、1,2年生の見本になるなどして、明るく元気のある学校にしたい」「自分から率先してスリッパを揃えられるような学校にしたい」など、決意やこんな学校にしたいという思いが語られました。

本校は、『夢と希望に向かって 心豊かに学び合う子どもの育成』という学校教育目標を掲げており、それを推進するための重点ポイントの1つとして『あたりまえのことをあたりまえにできる子どもに』ということを挙げています。



「チャイムで授業が始められる」「あいさつができる」「廊下を走らない」「トイレのスリッパが揃えられる」「感染症対策(マスク着用、手洗いなど)がとれる」という5項目に加え、「ひと(相手)を大切にできる ⇒ 目を見てやり取りができる。笑顔で穏やかに接することができる」ということを意識して教育活動を行っています。

子どもたちから、本校の教育目標を意識した言葉が出てきたことを嬉しく思いました。学校は、先生、子ども、保護者、地域の方々みんなで同じ方向を向いて創(つく)っていくものです。代表委員が話してくれたことが達成できるように、みんなで力を合わせてやっていきましょう。

追伸：放送室をのぞいたら、「校長先生、どうぞ座ってください」と座席を譲ろうとする子どもたちの姿がありました。「まだまだ56歳、若いんだぞー」と思いつつ、やさしい子どもたちの心遣いにほっこりする気持ちになりました。みんな、やさしさをありがとう。(文責 北住 昌文)

追伸：放送室をのぞいたら、「校長先生、どうぞ座ってください」と座席を譲ろうとする子どもたちの姿がありました。「まだまだ56歳、若いんだぞー」と思いつつ、やさしい子どもたちの心遣いにほっこりする気持ちになりました。みんな、やさしさをありがとう。(文責 北住 昌文)